

## ▼ホメピゾール点滴静注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】ホメピゾール Fomepizole 【分類】解毒剤 [エチレングリコール・メタノール中毒用剤 (アルコール脱水素酵素阻害剤)]

【単位】▼1.5g/V [1.5mL]

【常用量】初回 15mg/kg, 2回目から5回目は10mg/kg, 6回目以降は15mg/kg 12時間ごとに点滴静注 ■HD併用の場合には別に設定あり

【用法】30分以上かけて点滴静注 ■生食または5%ブドウ糖注射液にて1.0~15.0mg/mLとなるように希釈

【透析患者への投与方法】おそらく常用量適用可 (5)

【CRRT】50%に減量してもよい (Lao YE, et al: Clin Toxicol (Phila) 2022 PMID: 34585641)

【保存期CKD患者への投与方法】おそらく常用量適用可 (5)

【特徴】肝臓アルコールデヒドロゲナーゼの阻害剤で、エチレングリコールからグリコール酸とシュウ酸が、メタノールからギ酸が生成するのを阻害する。

【主な副作用・毒性】アナフィラキシー、頭痛、痙攣、めまい、徐脈、消化器症状、注射部位異常など

【代謝】肝でCYPの関与する経路で代謝 (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率2% [iv, 48hr まで] (1) 代謝物の4-カルボキシピラゾールとして65.9±4.5%が尿中に回収 (1)

【CL】200mL/min (1)

【t1/2】2hr (1)

【蛋白結合率】低いと思われる (5)

【Vd】0.4~0.9L/kg (1)

【MW】82.10

【透析性】HDクリアランスはQBの25~40% (1)

【O/W係数】資料なし (1)

【相互作用】CYP2D6, 2E1に対して阻害作用を示し、CYP1A2, 2A6, 2C9, 3A4に対して弱い阻害作用を示す (1)

【更新日】20240417

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。